

17 MASLDやMASHと言われたら、 どのような検査が必要でしょうか。


A 放置せず、必ず肝臓に関する検査と合併症に関する検査を受けましょう。

● 血液検査、画像検査に加え、線維化の評価が重要です。

MASLDの患者の約30%は、血液検査で肝機能異常を示さないことが報告されています。そのため、診断後は定期的な血液検査および腹部超音波検査による経過観察が推奨されます。さらに、生命予後に深く関与する肝線維化の評価も重要です。

肝臓が硬くなっている（線維化）かどうかを推定する指数としてFIB-4 index（フィブフォーインデックス）が広く用いられており、日本肝臓学会のウェブサイトで簡便に計算できます。以下の項目に該当する場合は、正確な線維化の評価のために専門医療機関への紹介を検討してください。

FIB-4 index

（フィブフォー インデックス） 

年齢、AST、ALT、血小板数を用いて、肝硬変、肝がんに関与する肝線維化の進行度を評価します。

数値が高い方は必ず消化器・肝臓専門医への受診を勧めましょう。



以前「ただの脂肪肝」と言われたが、本当に大丈夫だろうか？



専門医への紹介を検討する線維化を疑う所見

段階	判定条件	対応
一次スクリーニング	<ul style="list-style-type: none"> ●血小板数 <20万 /mm³ または ●FIB-4 index ≥ 1.30 (66歳以上は ≥ 2.0) 	二次スクリーニング または 肝臓専門医へ紹介
二次スクリーニング	<ul style="list-style-type: none"> ●下記検査項目のいずれかが基準超過 (ELFスコア, IV型コラーゲン7S, M2BPGi, オートタキシン等) 	肝臓専門医へ紹介

※FIB-4 indexは、アルコール性肝障害や高齢者では肝線維化が認められない場合でも高値を示すことがあり、また糖尿病患者では肝線維化が存在していても低値となる可能性がある。そのため、保険適応を考慮し、線維化マーカーと併せて評価することが望ましい。

線維化のリスクが高いと判断された症例に対しては、専門医療機関で肝硬度測定や肝生検を検討します。肝硬度測定は、超音波やMRIを用いたものがあります(施設により設備が異なります)。最終的に、脂肪肝の程度や線維化を評価するために肝生検を行うことがあります。肝生検とは腹部超音波装置で肝臓の位置を確認しながら、体表面と肝臓の表面に麻酔をし、専用の針で肝臓の組織を長さ2cm、太さ1~2mmほど採取する検査です。処置自体は15~30分程度です。頻度は少ないですが、出血などの併発症が起こった場合に備えて、短期間の入院で行われる場合がほとんどです。組織は病理学的検査に提出され、1~2週間で結果が判明します。

